事業番号 02 事業改善シート(30年度実施事業分) 口当初要求 口当初予算案 口補正予算案 15 08 部局 教育委員会事務局 課•室 文化財·生涯学習課 社会教育施設事業 事 業 名 実施期間 S24 ~ E-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp 総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0) 8つの重点目標 1-4 生涯を通じて学べる環境の整備 総合的に展開する 重点政策

1 事業の概要

		・生涯学習担当企画幹、公民館支援専門アドバイザーの市町村訪問により公民館活動を支援 ・外部人材登用の館長のもと、地方創生の時代に対応した情報と人とをつなぐ新しい図書館づくりを推進	30年度 決算額	404,975 千円
	(了昇編)以时)	・健全な青少年育成のため、少年自然の家2所を指定管理制度により運営(H30:2所 38,993人利用)	職員数	24.50 人
ı				

目指す姿

- 学びたい人が、学びたいときに、学べるとともに、県民の主体的な学びの成果が蓄積されていく仕組みの検討
- ・県立図書館を中心に、多様な情報や人がつながり、アイディアを形にしていく「知と創造の場」としての図書館づくりを推進・信州の特性を生かした自然教育・野外教育を展開する施設としての「少年自然の家」の機能強化

(主な実施内容:生涯学習推進センター事業(信州・webカレッジ(仮称)創造事業)、県立長野図書館事業、少年自然の家管理運営事業等)

区分		分(耳	单位:千円)	29年度	30年度	令和元年度
	前年度繰 当初予算		年度繰越		46,386	
			首初予算	415,211	512,991	291,698
事	額	祁	前正予算	-11,789	-143,938	
業		í	合計(A)	403,422	415,439	291,698
未			一般財源	234,599	239,646	242,265
コ	AO.	, [県 債	166,000	106,000	33,000
ス	財派	京 🗌	国庫支出金		192	397
			その他	2,823	69,601	16,036
۲	決		額(B)	350,042	404,975	
		算]	職員数(人)	23.5	24.5	24.5
	費		既算人件費 (C)	190,397	201,341	201,341
	概算	事業	費(B(A)+C)	540,439	606,316	493,039

~ / / (区間が配置する)、外立区対図目出する、グーロボックを配理を目する。									
	指標及びその達成状況								
No	成果指標	29年度	30年度						
INO	八木 11 1示		目標値	成果	達成状況				
1	生涯学習推進センター 指導者養成研修受講者 数	2,718人	2,100人	2,728人	達成				
2	県立長野図書館 県内公共図書館調査相 談件数	78,750件	79,400件	88,578件	達成				
3	少年自然の家における 自主事業実施回数	58回	75回	68回	未達成				

成果指標 設定理由

・生涯学習推進センター:現状を上回る数値を設定

- ・県立図書館:総合5か年計画最終年(2022年)に過去10年 の平均74,300件から10%増(82,000件)を目標に、現状を 上回る数値を設定。
- ・少年自然の家:現状を上回る数値を目標に設定

目標に対する 成果の状況

備考

- ●講座の対象者を絞り、移動講座にするなど内容を見直すことで、ほぼ県全域から受講してもらい目標を大きく上回る成果となった。
- ●県民の情報編集力を高めるための図書館フォーラムや司書向け研修会の開催等により、目標を上回った

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

●自主事業については、計画した日程が確保できなかったものがあり、目標回数を下回ったが、好評な事業を複数回行ったため、 前年度を上回る実施回数となった。

2 今後の事業の方向性

A 46 10 6	課 題	今後の方向性
ていきたいか	●地域社会が抱える課題解決に向けた研修講座の検討●県立図書館の専門性・広域性の向上●少年自然の家利用者ニーズに応える自主事業の実施・施設の表析が	 ●地域社会をリードする生涯学習推進者の市町村を超えて協力できるネットワーク作り ●多様な情報や人がつながり、アイディアを形にしていく図書館づくりを推進(図書館フォーラム、知のポータル、信州・学び創造ラボ) ●少年自然の家の機能充実(自主事業の充実、施設の改修)

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

Г	1.	プロジェクト						今和二左 库	
ı,	١,	プロジェクト	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数	平成3	0年度	令和元年度	
ĺ		No	和事未有	00十度 天旭門 4(天順)		(人)	(当初)	(決算)	(当初)
	1		生涯学習推進センター事業 (信州・webカレッジ(仮称)創 造事業)	・指導者養成研修の開催(公民館職員初任者研 実践講座、県政課題対応講座等)・オンライン上の学習プラットフォーム構築ため、 ついての検討。		3.00	15,329	14,253	16,651
4	2			・図書館の管理運営全般 ・業務用コンピューターシステムの管理運営 ・図書の貸出及びデータベース等による情報提供サービス ・「信州・学び創造ラボ」の整備 ・信州に関するデジタル情報基盤の構築に係る検討			214,165	205,419	168,225
6.5	3		青年の家・少年自然の家 管理運営事業	・指定管理者による少年自然の家(望月・阿南) ・利用者の安全・快適な利用のため、経年劣化活 箇所等の修繕工事、設計業務等を実施。		0.50	145,480	185,303	100,065
		(青年の家施設移管補助)		施設移管先の松川町が補助事業を実施しなかったため、実施できなかった。			138,017	0	6,757
				1/2	合計	24.50	512,991	404,975	291,698

■点検

口当初要求 口当初予算案

口補正予算案

事業改善シート附表

事業番号 事 業 名 社会教育施設事業 教育委員会事務局 課 • 室 文化財・生涯学習課 部局 15 08 02 実施方法 29年度 30年度 30年度 細事業 項目 細事業名 30年度 実施内容(予定) 30年度 実施内容(実績) 当初 要求 当初 補正 決算 状況 (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) 情報提供に係る事業費 インターネットによる情報提供、研修講座を記録 他県の先進事例の視察及びコンテンツや実施方法等 計画通り 信州·webカレッジ(仮称)創造 175 3. 189 560 246 したDVDの貸出、学習相談等を実施 接 について有識者から意見を聴取し検討。 事業 県民向けオンライン講座のプラットフォームの検討 ・遠隔の市町村を考慮した移動講座の実施 住民相互の支援を基盤とする県政課題に対応する 市町村の公民館職員や生涯学習推進者、社会教育 講座の実施 31講座(年度当初は27講座予定) 計画通り 生涯学習推進センター事業 1, 672 1.613 1.300 指導者養成等の研修事業費 1.613 関係者等を対象に地域の課題解決をリードできる ● 地域づくり推進研修 21講座 指導者養成の講座等を実施 学校と地域の連携推進研修 1 講座 ● 地域の教育力向上研修 9 講座 直 計画通り 施設の管理運営経費 ・生涯学習推進センターの管理・運営 ・生涯学習推進センターの管理・運営 12. 882 13, 083 13, 156 12, 707 図書館の管理運営全般(行政嘱託員の報酬・ 行政嘱託員報酬及び保険料等 計画通り 管理運営事業 139, 504 70.038 70. 310 63.348 接 保険料等、燃料費·庁舎保守管理等維持管理) ·維持管理経費等(燃料費·保守管理費等) 業務用コンピューターシステムの管理運営 計画通り (消耗品、光熱水費、回線使用料、プロバイダ 28,604 28, 604 28, 604 27, 959 ・コンピュータ管理事業 ・コンピュータシステム管理・運営経費 接 接続料、コンピュータ借上料) 県立長野図書館事業 図書の貸出及びデータベース等による情報提供 貸出等の図書サービス、図書購入費等 計画通り 31, 776 40, 250 図書館事業 125, 881 41, 577 サービス 接 市町村との連携・支援、相互貸借郵送料等 市町村図書館の運営支援 「信州・学び創造ラボ」の整備 「信州・学び創造ラボ」の整備 「信州・知の入口」ポータル(信州に関する 「信州・知の入口」ポータルの構築に係る検討 計画通り 11, 853 73, 862 ·図書館改革事業 デジタル情報基盤) の構築に係る検討 82, 830 73, 674 (7回) 「図書館フォーラム」の開催による意識改革、 図書館フォーラム等の開催(13回) 市町村と連携した人材育成 指定管理者が行う少年自然の家 指定管理者が青少年教育施設としての機能を維持・ 指定管理者が青少年教育施設としての機能を維持・ (望月・阿南)の運営に係る経費 管理し、多様な体験プログラムの利用者への提供 管理し、多様な体験プログラムの利用者への提供 計画通り 55, 500 54, 900 … 施設の管理・運営 に必要な経費の一部を支出 54, 900 54, 900 に必要な経費の一部を支出 … 青少年の体験活動に資する 指定管理者:望月・信州リゾート(株) 自主事業の実施 阿南•阿南町 少年自然の家の利用者が安全で快適に施設の利用 望月少年自然の家:屋根及び外壁改修工事 3 青年の家・少年自然の家事業 施設の経年劣化などに伴う修繕 計画通り をできるようにするため、経年劣化が著しい箇所 上水道管の改修工事 110. 245 96. 831 90. 580 -5, 921 130, 403 工事の実施 等の修繕工事、設計業務等を実施 阿南少年自然の家:屋外トイレの水洗、洋式化工事 ・平成29年3月末で県有施設を廃止した青年の家の 松川町が、旧松川青年の家の後利用について 青年の家(松川・須坂)施設移管 未実施 助 うち、平成30年度は松川町に対して譲与後の施設 再検討することとなり、整備計画の事業を実施でき 23.000 163.017 138, 017 -138, 017 に伴う補助金の交付 の良好な維持・管理に必要な経費を補助 なかったため未実施。 合 計 415, 211 | 639, 986 | 512, 991 | -143, 938 404. 975